

# 事業運営構想図 (平成25年度)

### 国の施策

○青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促すために、すべての青少年の生活に体験活動を根付かせ、体験を通じた試行錯誤、切磋琢磨を見守り支える。(平成19年1月中央教育審議会答申)  
 ○子ども・若者が生き生きと、幸せに生きていく力を身につけさせる。困難を有する子ども・若者やその家族を支援する。地域における多様な担い手を育成する。(平成22年7月子ども・若者ビジョン)  
 ○体験活動は、「社会を生き抜く力」を持つ青少年の育成に欠かせない教育である。(平成24年8月中央教育審議会中間報告)

### 国立青少年教育振興機構の教育に関する目標(中期目標・中期計画より)

○青少年及び青少年教育指導者等を対象とする研修等の推進  
 ○青少年及び青少年教育指導者等を対象とする研修に対する支援  
 ○青少年教育に関する関係機関・団体等との連携促進  
 ○青少年教育に関する調査及び研究の充実

### 青少年教育の課題への対応

○青少年の課題や困難を有する青少年の問題等に対応した、公立の青少年教育施設等で活用できるモデル的なプログラムの開発  
 ○青少年の国際交流の推進  
 ○青少年教育指導者等の養成及び資質の向上  
 ○青少年の体験活動等の重要性についての普及・啓発  
 ○研修利用の促進及び研修に対する支援の推進  
 ○青少年教育に関する関係機関・団体等との連携促進  
 ○青少年教育に関する調査・研究の体制強化及び実施

### 国立若狭湾青少年自然の家

○若狭湾国定公園の中心部の「田島半島」の一部にあり、眼前にはリアス式の美しい海岸美を形成している。この恵まれた立地条件を生かし、カッターやスノーケリング・シーカヤック・水泳・ボートなどの海型の活動が展開できる。  
 ○山側には、半島をとりまく自然遊歩道があり、その周辺にはクロマツ・コナラ・ヤマザクラ・ヤブツバキなどが群生しており、四季折々の美しさが味わえ、ハイキングやグリーンウオーチングなどの野外活動や自然学習ができる。  
 ○大陸文化や食材(鯖)が若狭から京都へと流通していった歴史があり、数多くの貴重な文化財に恵まれている。  
 ○近隣の施設や漁港(漁村)と連携し、海の道を活かしたプログラム展開ができる。

### 事業運営の方針

1 教育事業の充実を図るため、  
 ○若狭湾の魅力を生かし、国立施設としての特色ある事業を推進する  
 ○「子ども・若者ビジョン」「機構活性化プラン」を踏まえ青少年に関する国の課題に対応した事業を推進する  
 ○地域の指導者やボランティアを対象とする指導者養成事業を推進する  
 ○青少年に対する異文化理解の増進を図る事業を推進する  
 ○青少年の体験活動等の重要性を発信するための事業を推進する

2 研修支援の充実を図るため、  
 ○利用団体の教育的ねらいを踏まえた指導・助言の充実を図る  
 ○若狭湾の立地条件を活かし、教育的な観点に立った活動プログラムの充実を図る  
 ○海の活動の充実に向けた調査研究を推進する

3 ニーズに合う施設運営と利用者サービスの向上を図るため、  
 ○利用に関するホームページを充実する  
 ○広報活動の積極的な取り組みを推進する  
 ○職員の意識・技能を高める研修を推進する  
 ○地域の関係機関・団体との相互連携を推進する

### 利用者の立場にたった施設像

○利用しやすい施設  
 ○安心して活動できる施設  
 ○充実感が味わえる施設

